令和 2年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		母子・父子福祉支給事業	担当課	児童福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	昭和63年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	任意的事務
	基本事業	子育ての経済的負担の軽減	市民協働	その他
予算科目コード		01-030201-06 単独	根拠法令・条例等	守谷市母子・父子福祉住宅手当支給要綱，守谷市高等職業訓練促進給付金等支給要綱

なぜ，この事業を実施しているか？　何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）

　昭和39年度施行の母子及び父子並びに寡婦福祉法において，国及び地方公共団体は，母子・父子家庭等の福祉
・攝iさせる責務があると定めている。ひとり親世帯の経済的援助ができるよう，昭和63年度に守谷町母子福祉
Z宅手当支給要綱及び守谷町父子福祉手当支給要綱を制定。また，生活の安定や経済的自立の援助ができるよう
ｽ成20年度に茨城県高等職業訓練促進給付金等交付要項が施行され，令

目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）

　・母子父子福祉住宅手当
@　借家住まいのひとり親家庭等に，生活基盤となる住宅を確保するための手当を支給することにより，経済的
@　自立を援助する。
@・母子家庭等高等職業訓練促進等給付金
@　就職の際に有利となる資格を取得する際，給付金を支給することで，生活の安定，経済的自立を援助する。

（参考）基本事業の目指す姿

保護者の経済的負担を軽減する。

内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）

　・母子父子福祉住宅手当
@　支給対象　児童扶養手当の全部停止の制限を受けておらず，賃貸住宅で居住し，賃借料を支払っている世帯
@　支給月額　5,000円
@　支給時期　4月，8月，12月に前月分までの手当を支給する。
@　※令和2年度　126世帯
@・母子家庭等高等職業訓練促進等給付金
@　支給対象　児童扶養手当の支給を受けている，又は同様の所得水準の世帯等
@　支給月額　非課税世帯：100,000円　課税世帯70,500円
@　支給時期　各月
@　※前年度との比較：母子家庭等高等職業訓練促進等給付金の支給対象見込人数が増えている。

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）

・母子・父子福祉住宅手当
　児童扶養手当申請時に併せて案内及び申請受付を行うため，対象世帯に対して確実に支給ができている。
　現況受付時に，支給要件に該当するか確認し，児童扶養手当額が停止から支給に変更があった場合は申請できる旨を伝え，申請漏れやトラブルの回避につながっている。
・母子家庭等高等職業訓練促進等給付金
　申請前に事前相談を行うため，支給要件・資格取得への意欲や能力等の把握・必要性が確認でき，適正な支給ができている。

改善内容(課題解決に向けた解決策)

・特になし

具体的内容とスケジュール

・特になし

次年度のコストの方向性（→その理由）

☐増加
☐維持
☐削減

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
・母子・父子福祉住宅手当 　手当を支給することにより，借家を賃貸しているひとり親の経済的精神的負担が軽減された。 ・母子家庭等高等職業訓練促進給付金 　給付金を支給することにより，生活の安定を支援できた。	・母子・父子福祉住宅手当 支給要件に該当する101世帯（R3.3現在）に対して手当を支給し，経済的支援を行った。 ・母子家庭等高等職業訓練促進給付金 支給要件に該当する3世帯に対して給付金を支給し，生活の安定を支援した。

評価（指標の推移、今後の方向性）

指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
支給世帯数（世帯）	108.00	101.00	105.00	102.00	98.00	101.00	121.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

成果の動向（→その理由）	
□向上 ■横ばい □低下	児童扶養手当を受給する母子・父子家庭に対して，当該手当の申請時に併せて案内及び申請受付を行っており，効率的に実施できている。 転出や年齢到達等による資格喪失者と新規認定請求者の数はここ数年釣り合っており，受給者の大幅増加はない。

今後の事業の方向性（→その理由）	
□拡大　□改善・効率化 □縮小　□統合 ■維持　□廃止・終了	母子・父子家庭等の福祉増進のために扶助費を支給するのみの事業であるため，改善の余地はない。

コストの推移

項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	6,040	6,810	8,552	11,944	11,944
	国・県支出金	0	900	2,120	4,053	4,053
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,678	2,678	2,499	2,678	2,678
	一般財源	3,362	3,232	3,933	5,213	5,213
正職員人工数（時間数）		87.00	65.00	78.00	0.00	0.00
正職員人件費		363	267	316	0	0
トータルコスト		6,403	7,077	8,868	11,944	11,944

令和 2年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		子育て王国ひとり親家庭応援給付金事業	担当課	児童福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	令和 2年度～令和 2年度
	施策	子育て支援の充実	種別	任意的事務
	基本事業	子育ての経済的負担の軽減	市民協働	
予算科目コード		01-030201-16 単独	根拠法令・条例等	子育て王国ひとり親家庭応援給付金支給事業実施要綱

なぜ，この事業を実施しているか？　何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い，子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に対し，経済的援助を行う必要となった。	児童扶養手当（令和2年5月分）を受給しているひとり親世帯に対し，対象児童1人あたり3万円を支給する。 対象児童　506名 対象世帯　332世帯
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
子育てに対する負担の増加や収入の減少などによる心身等の困難や家計急変の軽減を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
	対象世帯332世帯に経済的支援を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

成果の動向（→その理由）	
■向上 □横ばい □低下	生活支援，経済的援助ができた。

今後の事業の方向性（→その理由）		
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 □統合 ■廃止・終了	令和2年度単年度事業のため終了となる。

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	0	0	15,301	0	0
	国・県支出金	0	0	15,301	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	28.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	113	0	0
トータルコスト		0	0	15,414	0	0

令和 2年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		子育て王国子育て世帯応援給付金事業	担当課	児童福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	令和 2年度～令和 2年度
	施策	子育て支援の充実	種別	任意的事務
	基本事業	子育ての経済的負担の軽減	市民協働	
予算科目コード		01-030201-17 単独	根拠法令・条例等	

なぜ，この事業を実施しているか？　何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い，令和2年3月～5月にかけて，幼稚園及び保育所等の利用自粛要請，小中学校及び高等学校の休校並びに外出自粛要請により，児童が自宅で過ごす時間が長くなった。

目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）

児童が自宅で過ごす時間が長くなったことにより，追加的に生じる費用の一部として，国が支給する「子育て世帯への臨時特別給付金」に加えて，追加の給付金を支給することで，子育て世帯の生活を支援し，その向上を図る。

（参考）基本事業の目指す姿

内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）

令和2年6月1日時点で守谷市に住民登録があり，平成14年4月2日から令和2年6月1日までに生まれた児童の保護者に，対象児童数×1万円の給付金を支給する。

〇対象児童数
　12,774名
〇対象保護者数
　7,600名

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）

改善内容（課題解決に向けた解決策）

具体的内容とスケジュール

【5月】制度設計
【6月】対象者抽出，通知発送準備
【7月】交付決定通知
【～10月末】給付金支給

次年度のコストの方向性（→その理由）

☐増加 ☐維持 ■削減	令和2年度の単年度事業であるため，次年度は皆減となる。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
	対象児童数12,774人の99.89%にあたる12,760人分（7,589世帯）に支給することができた。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

成果の動向（→その理由）	
■向上 □横ばい □低下	コロナ禍の中，国が支給する「子育て世帯への臨時特別給付金」に加えて，子育て王国子育て世帯応援給付金支給することで，子育て世帯の生活を支援し，安定した生活の一助となった。

今後の事業の方向性（→その理由）		
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 □統合 ■廃止・終了	令和2年度単年度事業のため終了となる。

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	0	0	128,949	0	0
	国・県支出金	0	0	128,949	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	128,949	0	0

令和 2年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		ひとり親世帯臨時特別給付金事業		担当課	児童福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	令和 2年度～令和 2年度
	施策	子育て支援の充実		種別	法定＋任意
	基本事業	子育ての経済的負担の軽減		市民協働	
予算科目コード		01-030201-18 補助	根拠法令・条例等	守谷市ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業実施要綱	

なぜ，この事業を実施しているか？　何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	**内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）**
新型コロナウイルス感染症の影響により，子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭に対し，子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が心身等に生じている。 **目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）** 低所得のひとり親家庭に対し，早期に支給し経済的軽減を図る。 **（参考）基本事業の目指す姿**	①児童扶養手当（令和2年6月分）の受給者，②公的年金給付を受けていることにより児童扶養手当の支給を受けていない者，③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し，直近の収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がった者に1世帯50,000円，2子以降30,000円を支給する。 ①②のうち，収入が減少した世帯に50,000円追加支給する。 ①②③の再支給する。 対象児童　647名 対象世帯　429世帯 追加支給対象世帯　335世帯

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	**具体的内容とスケジュール**
  改善内容(課題解決に向けた解決策)	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
	対象世帯429世帯に経済的支援を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

成果の動向（→その理由）	
■向上 □横ばい □低下	生活支援，経済的援助ができた。

今後の事業の方向性（→その理由）		
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 □統合 ■廃止・終了	令和2年度の単年度事業であるため，次年度は皆減となる。

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	0	0	73,703	0	0
	国・県支出金	0	0	73,703	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	267.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,081	0	0
トータルコスト		0	0	74,784	0	0

令和 2年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		子育て世帯臨時特別給付金事業	担当課	児童福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	令和 2年度～令和 2年度
	施策	子育て支援の充実	種別	法定＋任意
	基本事業	子育ての経済的負担の軽減	市民協働	
予算科目コード		01-030203-02 補助	根拠法令・条例等	令和2年度守谷市子育て世帯への臨時特別給付金支給事業実施要綱

なぜ，この事業を実施しているか？　何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている生活に困っている子育て世帯を支援する。	児童手当受給者に対し，対象児童一人あたり10,000円を支給する。 対象児童　9,265名 対象世帯　5,636世帯
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
子育て世帯に給付金を支給することにより経済的軽減を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
	対象世帯5,636世帯に経済的支援を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

成果の動向（→その理由）	
■向上 □横ばい □低下	生活支援，経済的援助ができた。

今後の事業の方向性（→その理由）	
□拡大　□改善・効率化 □縮小　□統合 □維持　■廃止・終了	令和2年度の単年度事業であるため，次年度は皆減となる。

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	0	0	94,547	0	0
	国・県支出金	0	0	94,547	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	250.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,012	0	0
トータルコスト		0	0	95,559	0	0